

第1号様式(第3条関係)

特定建築物排出量削減計画書

(あて先) 京都市長	18年9月21日
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地) 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地	氏名(法人にあつては、名称及び代表者名。 印又は署名)京都市都市計画局公共建設部企画設計課長 岡野 哲也 電話 075-222-3640

京都市地球温暖化対策条例第21条の規定により届け出ます。			
特定建築物の名称	京都市焼却灰溶融施設(仮称)建設工事		
特定建築物の所在地	京都府京都市伏見区醍醐陀羅谷1番地の138他		
特定建築物の概要			
設計者の氏名	京都府京都市計画局公共建設部企画設計課 担当課長 黒木省二		
設計者の住所	京都府京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地		
工事種別	☒ 新築 ☐ 増築		
予定年月日	工事着工予定年月日 平成18年11月1日 工事完了予定年月日 平成2年3月31日		
構造	鉄骨造	階数	地上 6階 地下 1階
敷地面積	27155.15 平方メートル	高さ	30 メートル
建築面積	5536.32 平方メートル	床面積	15,547.29 平方メートル (平方メートル)
用途別床面積	住宅		
	ホテル等		
	病院等		
	物品販売業を営む店舗等		
	事務所等		
	学校等		
	飲食店等		
	集会所等		
工場等	15,547.29 m ²		
温室効果ガス排出量の削減を図るための措置			
☒ 外壁、屋根、床の断熱	(概要) 外壁に断熱効率の高いALC版、屋根は断熱乾式工法を採用。居室、廊下、床のコンクリート面に断熱材を敷き、天井断熱材等も施工。		
☒ 窓の断熱又は日射遮蔽	(概要) フライドによる日射遮蔽と対策。		
☒ 自然エネルギーの直接利用	(概要) 採光センサー・ソーラーにより自然採光を積極利用。自然エネルギーを空調系統に組み込み、空調効率を大幅に向上。		
☒ 自然エネルギーの変換利用	(概要) 太陽光発電システム 40kW を設置している。		
☐ エコマテリアルの利用	(概要)		



☒ 緑化	(概要) 工事完成後において、既存山林部分の法面を緑化し、新設各用地地盤面にて、施設の機能上支障のない部分はすべて緑化している。	
☒ 雨水利用	(概要) 雨水貯留槽 56m ³ を設置し、中水系統に利用している。	
☒ オゾン層保護	(概要) ハロン消火剤を使用していない。	
☐ 長寿命化	(概要)	
☐ その他	(概要)	
特定建築物の環境の保全についての配慮に係る性能に関する評価結果		別添のとおり
連絡先	担当部署	
	担当者氏名	
	住所	
	電話番号	
設計者の住所及び氏名の公表について		☒ 公表可 ☐ 公表不可

- 注1 該当する□に、レ印を記入してください。
- 2 床面積の欄の括弧内は、増築の場合に、当該増築部分の床面積を記入してください。
- 3 用途別床面積の用途(住宅を除く。)とは、建築物に係るエネルギーの使用の合理化に関する建築主の判断の基準(平成11年3月30日通商産業省、建設省告示第1号)別表第1に掲げるものとします。
- 4 概要を記入した場合は、それらを図面等で明示した資料を添付してください。
- 5 エコマテリアルとは、人体への安全性や資源の枯渇に配慮した材料、リサイクルが容易な材料等環境負荷の少ない材料をいいます。